

## (株) 第一興商 第34回番組審議会議事録

○日 時 2019年7月18日(木) 16:00~17:30

○場 所 (株)第一興商本社 3F会議室

○第一興商報告

◇2018年度 第一興商トピックス

◇スターデジオトピックス

○審議課題

◇スターデジオ『Ch.400 DAM 鉄板!新曲&プッシュアーティスト』

●番組説明(放送楽曲、ターゲットや編成意図について)

●番組審議

番組審議会委員・出席一覧(敬称略) 15名出席

《出席者》

弦 哲也	作曲家 日本作曲家協会理事長
音 好宏	上智大学教授(議長)
湯川れい子	作詞家/音楽評論家
ボブ 佐久間	作曲家/指揮者 日本作編曲家協会理事
伊藤 薫	作詞家/作曲家

(株)第一興商・出席者一覧

保志 忠郊	代表取締役社長
渡邊 泰人	常務取締役兼上席執行役員

制作本部 BGM 放送部

渡辺 宏	BGM 放送部部长
瀧本 茂	BGM 放送部次長
八巻 任	放送管理課課長
吉倉 聡	放送制作課課長

番組審議会事務局

榎本 篤	放送制作課	リーダー
福本 崇	放送管理課	チーフ
橋本 大地	放送制作課	
磯部 智子	放送管理課	チーフ (書記)

## 議事内容

### 1. スターデジオトピックス

- 1) 『スターデジオ Air』 2018年4月サービス開始
- 2) 2019年4月チャンネル改編（13チャンネル）
  - ・ DAM ランキングチャンネル 増
  - ・ MIXTRAX チャンネル 増
  - ・ J-POP チャンネル 増
  - ・ 店舗支持の高い洋楽&JAZZ 強化
  - ・ 汎用性高いリラックスミュージック音源強化

### 2. 番組審議

◇審議チャンネル：Ch.400 DAM 鉄板！新曲&プッシュアーティスト

○放送局説明：

『カラオケ歌唱促進』 『DAM コンテンツの訴求』 『推しアーティストの訴求』  
の3点を軸に、新曲に特化し、視聴者に新しいレパートリーを増やすキッカケとなることを目的としたチャンネルを立ち上げた。

契約先店舗内の雰囲気づくりのお手伝いと、BGM 効果によるカラオケ歌唱喚起に繋げ、1曲でも多く歌っていただけるよう、サウンドメディアの一つのチャンネルとして今後さらに成長させていきたいと思っております。

◎審議委員：

拝聴しました。ラジオ放送を聴いているような、スピーディーに続けて色々な楽曲がテンポよく流れて時間を忘れ聴き入ってしまうような、良いコンテンツだと思います。演歌とJ-POP が割とランダムに選曲されているので、もしかしたらジャンルをまとめられた方が聴きやすいのではないかなと思います。また、10曲ごとにナレーションの方が曲名を紹介されていますが、何曲目でどのような楽曲だったかが分からなくなっていました。ナレーションの方もFMラジオに割と近いので、第一興商らしさを生かしたカラオケポイントなどのコメントを入れるとよいのではないのでしょうか。1つの楽曲に対してポイントは必ずありますので、『低音の声の方にはこのような楽曲がおすすめです』『音域の広い方にはおすすめの1曲だと思います』など第一興商ならではのナレーションが入ることにより、もっと面白くなるのではと感じました。楽曲が次々と流れてくるのは非常に爽快でした。

◎審議委員：

驚いたのが、クラシックのオーケストラの方で歌謡曲の音楽なんてとんでもないと言っている人がカラオケに行くと豹変します。

ヨーロッパのオーケストラは、テーブルの上で踊り出したりします。インバウンドの割合は、すごく興味があります。皆さんもカラオケのデータなども参考になされば、作り方も若干変わってくるのではないのでしょうか。これがおすすめです、これが流行っていますという情報もちろん大切ですが、年代、例えば70歳～80歳の方達は、カラオケボックスよりカラオケ喫茶など皆さんで騒ぎに行く感じで歌われる方が多いと思いますので、そのような事も参考にされるとよいのではないのでしょうか。

また、添付資料のDAM鉄板！洋楽には驚きました。ちゃんとした素晴らしい曲が未だに命があるのですね。ビリージョエル、プレスリーまで、ちゃんと歌える綺麗な曲が多く、このDAM鉄板！洋楽は本当に素晴らしいです。

○放送局説明：

映画の影響もあって、QUEENとディズニー楽曲は上位にランクインされています。

◎審議委員：

ボヘミアン・ラプソディの映画の影響もあり、QUEENは根強い人気曲がありますよね。J-POPについては、コードもしっかりしていてフュージョンのきっちりしたアレンジで素晴らしいです。演歌はイントロを聴くと次のメロディーがでてくるような楽曲でした。昔から作り方を変えない、だから演歌だということになるかと思います。番組編成とは関係ない事です。編成については問題ございません。

演歌歌手のカヴァー曲、また、ワンコーラスメドレーなどいかがですか？それもひとつのアイデアとしてご検討いただければと思います。

◎審議委員：

審議チャンネルは、歌唱推進やコンテンツ推奨に繋がるということで、番組構成は新曲40位から31位で1番組、その間にアニメランキングやリクエストが入っていて、資料を拝見し納得しました。5/13放送回は、1月から4月発売の新曲を40位から1位までを入れていく。カラオケに関しては年配の方が新曲を歌いたがるという大きな特徴がありますので、その方達の訴求に繋がるかと思います。ただ、あいみょんが出てきて5曲以内に鏡五郎が出てくるのはくらくらしてしまいました。この選曲でついてくる人がいるのだろうか、と。年配の方、10代、20代の方に新曲の訴求をするのであれば、『これが今一番の新曲』のような打ち出しをしないと、混乱するのではないかと思います。私だったらくらくらしてしまって、1度聞いたら充分だと思ってしまいます。

◎審議委員：

番組のMCをされている方ですが、声がかわいらしくてよいですね。どのような方が喜

んで聴いてくださるのか、この作りで強力な番組になるのかを検討した場合、ランキングのジャンル分けや、『今一番噂になっている新曲』を紹介するなど、分かりやすい方がよいのかなと思います。ただ、ラジオ代わりで聴かれているのであればこのままでも問題ないかと思います。

◎審議委員：

DAM 鉄板！洋楽は、時々中身を入れ替えて選曲されているのだと思いますが、最近は洋楽に関してはそこまでたくさん詳しく聴かれている洋楽ファンは少ないので、これだけバランスよく取り揃えていて、Ariana Grande や QUEEN など、今一番人気のある最新のメニューを入れながら選曲されていらっしゃるのには手堅いのかなあと。私が聴いていてもよい選曲だと正直に思える、一般の洋楽ファンには強そうなよい選曲をしていらっしゃると思います。

◎審議委員：

音楽の世界で関わる人間として、ランキングには非常に注目しています。通常のランキングでは、定番旧譜が登場してくるので選曲に動きはありませんが、新曲ですと、3カ月に発表された楽曲の中で皆さんに支持されているという上位曲が選曲されますので、常に新鮮な編成になりますね。個人的には非常に参考になりました。

番組編成については、カラオケを歌うのか？ラジオ代わりに音楽を楽しむのか？の2通りに分かれるかと思います。この歌を歌って、覚えて、次はこれを歌って、自分の鉄板にするんだ、というような歌唱促進を目的とした目線で攻めていくのか、また、耳に入ってくる音楽そのものを楽しむ方達の為に、番組を制作していくのか。基本的には、カラオケマーケットを中心に、カラオケファンを増やしていくのが一番だと思います。

カラオケファンの方達は、まず新曲を、誰も知らない歌を歌ってみるというのが一番優越感に浸れるところですので、歌好きの心をくすぐる非常に良い企画だと思います。

修正するところがあるとすれば、カラオケポイントなどのコメントオンエアがあってもよいかなと思います。音楽が流れる中で、ほっとできる時間があればよいと思います。

◎審議委員：

私は違った視点での意見を申し上げます。20年前になりますが、『繰り返し視聴欲求』という社会心理的な勉強をする機会がございました。同じものをもう一度見たいと思う時はどのような状況になるかという研究です。今回、資料を拝見しながら思い出したのですが、自分のごひいき曲が流れると気持ちが高揚して歌いたくなりますよね。問題はそこ新曲がどのように被っていくのか。新曲は初めて流れる曲ですので、最初は知らない曲です。ヘビーローテーションされることにより新曲が知る曲になっていき、自分の曲に合っているかも？となると歌いたくなる。さきほど洋楽の鉄板曲は、耳馴染みのある曲が多いので、ずっと心に残っている。一例ですが、解説の入れ具合を、TOP40 から

TOP30 にしてみたらどうなるのか、など研究する余地はあるかなと思います。よりヘビーなローテーションへ、また、情報の付加の仕方を少し変えてみるなど、実験をされながら編成してみると、ランキングがより鮮明になり、価値がでるのではと考えます。

◎審議委員：

新曲集計が3カ月間ですが、猶予があまりにもないような気がします。  
そんなものなのでしょうか。

◎審議委員：

新譜発売時期が、昔は年1作でしたが、現在は年2、3作が多いです。新曲をどんどん出すことによりプロモーションが集中し、CD売り上げに反映されますので、レコード会社の経営方針によるものなのかなとも思います。

◎審議委員：

この1位から40位は常にカラオケで歌われていて、反応のあるランキングなのか。

○放送局説明：

カラオケで歌われているランキングになります。

○説明員：

集計期間について、3カ月、4カ月など、各データを抽出し比較してみましたが、やはり集計期間が長くなるほど定着する曲が増えてしまうという結果になりました。  
新曲が入り込む余地が減り、飽きさせない選曲を心がけるとなると3カ月間が頃合いか  
と思います。

◎審議委員：

TOP30 にして、空いた時間でコメントを増やすなどすると、ちょうどよいかもかもしれませんね。

○放送局説明：

カラオケ喫茶ランキング楽曲リストについてですが、非常に新曲を歌われているのが印象的です。昼間からお店に集まってカラオケを楽しむ、新曲をいかに早く歌うかというのが理由に挙げられます。今回、『DAM 鉄板！大人の歌謡&ポップス』という名称で立ち上げましたが、さきほどの『DAM 鉄板！新曲&プッシュアーティスト』とは番組構成が異なり、幅広い期間で集計し、上位曲の中から順位不同で日替わり編成でお送りしています。

◎審議委員：

CDにはメイン曲とカップリング曲とありますが、カラオケランキングですとカップリング曲も多く歌われているのですね。音楽を作る側としましては嬉しい限りです。

○放送局説明：

数々のご意見ありがとうございます。

以上